

ティーチング・ポートフォリオ

大学名：大手前大学 所属：健康栄養学部 名前：石川 和江 作成日：2025年1月25日

1. 教育の責任

健康栄養学部では、「食」を通じて人々の健康や生活の向上に寄与する専門家を養成している。そのためには、専門に関する深い理解が得られる様、大学では、基礎的な知識や技術の学び、また、コミュニケーション力の向上に努める必要がある。

「フードスペシャリスト論」：栄養学メジャー選択科目、3年次春学期、2単位

「フードコーディネイト論」：栄養学メジャー選択科目、4年次春学期、2単位

「フードマネジメント論」：栄養学メジャー選択科目、3年次秋学期、2単位

「栄養学を学ぶための生物学」：栄養学メジャー選択科目、1年次春学期、2単位

「キャリアデザインⅢ」：栄養学メジャー必修科目、2年次春学期、2単位

「キャリアデザインⅣ」：栄養学メジャー必修科目、2年次秋学期、2単位

「卒業研究」：栄養学メジャー選択必修科目、4年次通年、4単位

「商品開発論」：栄養学メジャー選択科目、3年春学期、1単位

「社会連携演習【食品】」：栄養学メジャー選択科目、3年通年、1単位

(その他)

「看護栄養学」通信課程、オムニバス、通年科目、1単位

「生物・化学」短期大学 歯科衛生学科、必修科目、春学期、2単位

2. 教育の理念

本学のディプロマシーである、「社会に貢献できる人材を育成すること」を踏まえ、幅広い分野で活躍できる様、基礎から専門科目の知識の習得に加え、応用力を身に付けることを目指す。また、身に付けた力を活かすためには、協働できるコミュニケーション力が必要であり、その能力の開発に力を注ぐことが必要と考える。

3. 教育の方法

教育の目的と目標

(教員としての目標)

講義による学習では、スライドと穴埋めプリント、問題演習により知識の定着を図る。また、フードスペシャリスト資格試験受験者および合格者のうちの成績上位者を増やすことを目指す。

ミライステップ科目では、資格や就職につながる内容を心掛ける。

基礎科目では、専門科目につながるため、わかりやすい内容と説明で基礎学力の向上に努める。

(学生に求めること)

学生には、より積極的なとりくみや、資格取得についての意識の向上と自宅学習を求める。

教育実践

(教育実践)

「フードスペシャリスト論」では、フードスペシャリスト資格受験のための総論科目として、概略についての講義を行っている。教科書に沿ったスライドを作成し、配布プリントに書き込むことで、ポイントの理解につなげるよう工夫している。

「フードコーディネイト論」では、フードコーディネイトに必要な器具など、より専門的な内容となるため、写真や実物などを使用している。また、必要に応じて、実技を取り入れることで理解を深める。

「フードマネジメント論」では、フード業界での流通についてより深い内容に踏み込み、食のマネジメントについての講義を行っている。

「キャリアデザインⅢ、Ⅳ」では、キャリアデザインⅠ、Ⅱに続き、キャリア選択のための知識や能力などを育成し、社会人基礎力を身に付ける様、様々なカリキュラムを取り入れて実践する。

「商品開発論」「社会連携演習【食品】」では、食品分野への就職を検討している学生に対し、必要となる知識や技術について講義

ティーチング・ポートフォリオ

大学名：大手前大学 所属：健康栄養学部 名前：石川 和江 作成日：2025 年 1 月 25 日

し、より実践的な内容となるように工夫を行っている。

4. 教育の成果

フードスペシャリスト資格試験、専門フードスペシャリスト資格試験受験を希望する者が出ており、また全国成績を上回る成績の者がみられることから、学習成果がみられると考えられる。

5. 改善への努力と今後の目標

- ・ 目標に対する自分の課題
- ・ フードスペシャリスト資格関連科目は、4 年の春学期に終了するため、資格試験が行われる 12 月には受験者への対応が難しいのが現状である。受験者へは、試験対策を伝える必要があると考えている。
- ・ 基礎科目である、生物は理解している学生とそうでない学生の差が大きく、特に大学入学までに学習していない者にとっては理解しにくいようである。単位修得だけでなく、理解できる様な工夫を考えていきたい。

【添付資料】

なし